

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

<p>自治体名</p>	<p>青森県青森市</p>
<p>自治体の概要 主な特色 PRポイント</p>	<p>青森県のほぼ中央に位置し、令和7年3月時点での人口は約26万2千人で、面積は約824km²、八甲田連峰や陸奥湾などの美しい自然に囲まれ、四季折々の景観や、りんごやホタテなど豊富な食材に恵まれています。</p> <p>日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」のほか、世界文化遺産である国内最大級の縄文集落跡「三内丸山遺跡」、酸ヶ湯温泉や浅虫温泉に代表される豊富な温泉など、ここにしかない豊かな宝物を有している魅力的なまちです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>青森グルメもおススメです！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煮干し・焼き干しラーメン ・元祖 青森のつけ丼 ・貝焼き味噌などの郷土料理 ・日本酒 <div style="text-align: right;">  </div> <p>本市のワーケーションでは、関係人口や移住につながることを目的に、地域のお手伝いや地域住民・団体と交流するプログラムを展開し、ワーケーション体験者が地域との「縁」や「つながり」を築けるよう取り組んでいます。</p> <p>観光だけではない魅力いっぱいの青森市へ是非お越しください！</p>
<p>アクセス方法 (参考経路)</p>	<p>【東京駅】－東北新幹線（約3時間）－【新青森駅】 【羽田空港】－飛行機（JAL：約75分）－【青森空港】</p>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

<p>主な地域課題</p>	<p>[①人口減少（少子化・若者の市外流出）] 2001年から本市の人口の社会減が続いており、主に進学や就職を契機とした若年層の市外流出が著しい傾向となっています。労働力の不足や消費市場の縮小をはじめとする様々な影響が懸念されます。</p> <p>[②多様な主体との連携・協働の必要性] 地域コミュニティの縮小や希薄化、機能の低下や、市民ニーズの多様化・複雑化が進み、これまでの画一的な行政サービスだけでは対応が難しい状況になっており、行政だけでなく、多様な主体が連携・協働して持続可能な解決策を見出す必要があります。</p> <p>[③グローバル化・情報化社会への対応] インバウンド需要が高まる中で、本市の魅力を積極的に発信するとともに、言葉の壁を超えて交流を深めるなど、本市の個性と特徴を活かした国際化を進めることが重要になっています。また、経済成長の低下や環境問題、本格的な人口減少社会の到来などの様々な社会的課題の解決や、行政サービス・市民生活の利便性向上のため、ICTを利活用することが重要になっています。</p> <p>[④短命市（健康寿命の延伸）] 本市の高齢化率は、全国平均よりも高い一方で、平均寿命は、全国市区町村の中でも下位に位置する短命市と言えます。誰もが生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことは、個人の生活の質を向上させ、地域社会の活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を実現することが重要となっています。</p> <p>[⑤自然災害] 大規模地震や局地的な集中豪雨とそれに伴う土砂災害、豪雪による被害など、全国各地で甚大な被害が発生しており、自然災害に対する備えと安全・安心に対する意識を常に高めておくことが不可欠です。</p> <p>[⑥地球温暖化・海洋汚染など] 近年、陸奥湾の海水温の上昇や、短期間での集中的な降雨や降雪、桜の開花時期の早まりなど、生態系に影響を及ぼす気候の変化が顕著になっています。脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーに対する関心を高め、その利活用を検討するなど、安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継ぐことが重要となっています。また、プラスチックごみによる海洋汚染などは、自然の生態系に大きな影響を与えており、持続可能な社会の形成に向け、豊かな恵みをもたらす八甲田連峰や陸奥湾の自然環境を守ることが重要となっています。</p>
<p>受入時期</p>	<p>令和7年8月中旬～令和7年12月末日</p>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

ワーケーション プログラム内容	<p>アオモリ・ワーケーションは、一般的な work×vacation のワーケーションではなく、work×local communication (リモートワークをしながら、地方でがんばる地域住民や団体などと交流し、つながり、関係人口や移住者へと発展していくことを目的とした移住体験の造語) として、産学官連携で取り組んでいる事業です。</p> <p>[必須]</p> <p>①宿泊体験施設【宿泊料：青森市負担】 次のいずれかの宿泊体験施設を選択できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①青森公立大学国際交流ハウス (青森市大字合子沢字山崎153-4)</p>  <p>※5泊まで</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②移住体験施設「石木邸」 (青森市大字浅虫字内野1-2)</p>  <p>※2泊まで</p> </div> </div> <p>②リモートワーク体験【体験費用：青森市負担】 市内の指定する施設でリモートワーク体験をしていただきます。 (別紙：体験プログラム参照)</p> <p>③地域交流体験【体験費用：青森市負担】 漁業や農業のお手伝いやまち歩きなど、地域住民や団体など交流するプログラムを1つ以上選んで体験していただきます。(別紙：体験プログラム参照)</p> <p>[任意]</p> <p>④暮らしや余暇の体験【体験費用：青森市負担 (同行した場合のみ)】 本市の生活や暮らしを体感できるプログラムを体験していただけます。 (別紙：体験プログラム参照)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
主な対象事業者	リモートワークが可能な事業者
受入上限数	同期間の受入れは、4組まで(1組当たり4人まで)となります。
未就学児の子ども受入	【可・不可】 平日のみ。協力保育園・幼稚園と調整のうえ受入れが可能かご案内します。
事業者に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の事業等で本市の魅力を発信してもらえること。 ・ 事業者様の研修などの候補地として検討していただくこと。 ・ 地域を活性化し、地域住民との交流を深め、関係人口につがること。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験終了後にワーケーション体験の様子をSNS等で発信をお願いします。【参考：(これまでの参加者の投稿)】#アオモリワーケーション ・ 体験終了後にワーケーション体験のアンケートに回答をお願いします。

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。